

# IR Report

第36期 第2四半期株主通信 (2015年1月1日~2015年6月30日)



証券コード:9384

## 海外展開を基軸において 国際総合フレイトフォワードナーへ躍進

皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当社は厳しい市場環境を打開すべく、「国際総合フレイトフォワードナー」に向けた取り組みを進めています。その成果が表れ、当期第2四半期は計画を上回る業績を上げることができました。東証一部銘柄に指定された想いも含め、上半期の事業内容と今後の取り組みについてご説明いたします。

### 2015年度上半期の市場動向

「円安で輸出は追い風」という世間一般のイメージとは相反し、市場環境は厳しさを増しています。その要因は、まず、メーカーの生産拠点の海外移転により、日本からの輸出品が大幅に減ったこと。次に、当社の主要な輸出先であるアジア圏の景気が振るわないこと。さらに、船舶の大型化に伴い、輸送単価の下落が危惧されることです。

このような市場変化を見据え、当社グループは国際総合フレイトフォワードナーを目指して輸入ビジネスの推進や海外拠点の拡充、航空輸送の伸長などに一丸となって取り組んできました。



### 当期第2四半期の業績

海外事業が業績を大きく伸ばし、経常利益では国内事業と肩を並べるまでになりました。円安の影響があるので手放しには喜べませんが、今後もグループを牽引する原動力として期待できます。国内で業績を伸ばしたのは、グループ会社のユーシーアイエアフレイトジャパン。関空等各拠点の活況もあり、航空輸送が好調に推移しました。

その結果、当期第2四半期連結累計期間の業績は計画を大きく上回り、売上高は113億64百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益は7億80百万円（前年同期比141.7%増）、経常利益は7億76百万円（前年同期比142.6%増）、四半期純利益は4億73百万円（前年同期は4億7百万円の損失）となりました。

代表取締役社長

常多 晃

## 東証一部上場企業として

2015年3月20日をもって東京証券取引所市場第二部から同市場第一部銘柄に指定されました。これも株主の皆様をはじめ、お客様や従業員、取引先などのステークホルダーのお力添えがあつてのことと感謝いたしております。

今後も日本を代表する一部上場企業として、企業価値の向上に努め、すべてのステークホルダーに対する使命と責任を果たすべく、全力を尽くす所存です。



## 国際総合フレイトフォワードへの新たな取り組み

2015年6月1日、韓国の釜山新港に合弁子会社を設立し、物流倉庫の建設に向けて動き始めました。釜山新港は東アジアの物流サービスの拠点として注目される韓国屈指の貿易港です。また、自由貿易地域（FTZ）に指定され、税制優遇措置を受けることができます。事業開始は2016年9月の予定。ここを拠点の一つとして倉庫ビジネスを展開し、将来的には貨物輸送と並ぶ事業の柱へ育てる計画です。

また、中国の深圳に新会社を設立します。これによって中国と香港の子会社が担当していた業務エリアを再編し、新しい切り口で中国に対する物流関連事業の展開を目指します。

## 通期の決算見通し

国内の市場環境は下期も改善しないと思われます。中期経営計画に基づいて、海外展開を粛々と推進する所存です。

通期の連結決算予想は、当初の発表通り、売上高は210億円（前年比4.5%増）、営業利益は15億円（前年比31.0%増）、経常利益は15億円（前年比24.2%増）、当期純利益は10億円（前年比362.4%増）を見込んでいます。

## 株主の皆様へ

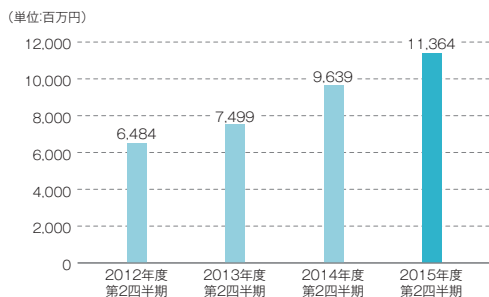
2015年7月1日付で、当社株式の流動性を高め投資家層の拡大を図ることを目的として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。

また東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されたことを記念し、中間配当において1株当たり10円の記念配当を実施しました。中間配当も1株当たり7円増額の20円とし、合計30円の配当です。年間配当は40円（株式分割前の基準では50円）を予定しています。

今後も株主の皆様が期待されるような成長を果たし、公約の30%配当を目指します。ただし、海外展開を推進するためには一定の設備投資も必要であり、それに向けた内部留保が必要になります。株主の皆様にはこの点をご理解いただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## ■当四半期の業績 (2015年1月～6月)

### 売上高



# 11,364

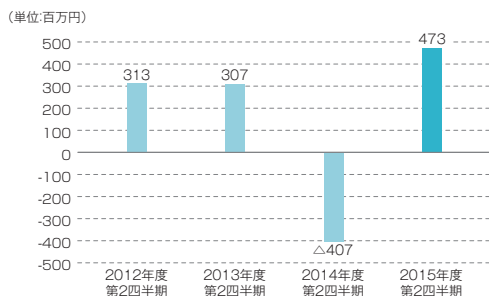
百万円

(前年同期比17.9%増)



国内では、主力の輸出混載輸送の売上げが好調。輸出フルコンテナ貨物輸送や航空輸送も前年実績を大きく上回り、前年同期比13.4%増。海外でも、日本発輸出貨物の増加や、中国、タイ、韓国で業績が大きく伸びたことから、同28.8%の増加となりました。

### 四半期純利益



# 473

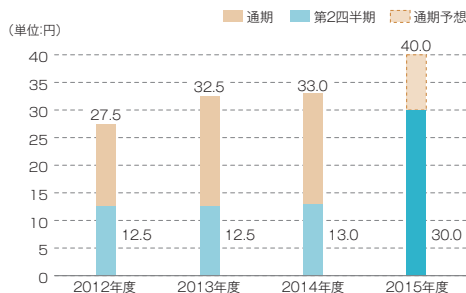
百万円

(前年同期は純損失407百万円)



売上増に伴い、売上総利益拡大。販売費及び一般管理費の削減に努め、営業利益は前年同期比141.7%の増加。前年同期に、連結子会社NTL-LOGISTICS (INDIA) PRIVATE LIMITEDに関する貸倒引当金やのれん償却費を計上した特別損失も当期は大幅に減少。結果、四半期純利益は473百万円(前年同期は407百万円の損失)となりました。

### 1株当たり配当金



# 30

円

(前年同期比17円増)



業績の推移並びに財務状況などを総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続実施を将来にわたり堅持する方針のもと、当第2四半期の配当金は、普通配当を前年同期比7円増の20円とし、東証第一部上場記念配当10円と合せて30円としました。通年では計40円(注)とする方針です。

(注) 年間配当予想は、株式分割前の第2四半期末の配当と株式分割後の期末配当を合計したものであり、株式分割実施前に換算すると、期末配当は1株当たり20円、年間配当は1株当たり50円(記念配当10円含む)となり、実質的には前年同期より17円の増額となります。

キャッシュ・フロー指標 (単位：百万円)	2012年度 第2四半期	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	355	133	328	691
投資活動による キャッシュ・フロー	△269	△629	△43	36
財務活動による キャッシュ・フロー	△223	△97	△153	130
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,427	3,036	3,814	5,585

資産関連指標 (単位：百万円)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度 第2四半期
総資産	7,110	8,980	9,166	9,796
純資産	5,610	6,625	6,977	7,664
自己資本比率 (%)	78.2	73.1	75.1	74.6

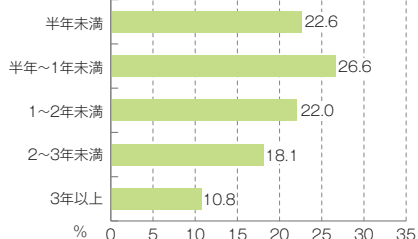
1株当たり指標 (単位：円)	2012年度 第2四半期	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期
1株当たり四半期純利益	59.93	58.40	△38.10	44.30

(注) 当社は、2015年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり指標の算定については、2014年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

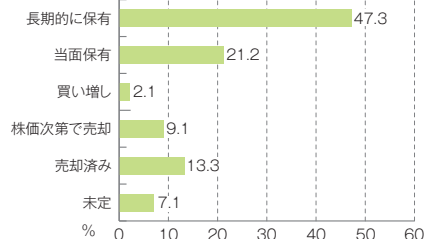
## 株主アンケート結果のご報告

2014年12月期株主優待お申し込みハガキで実施いたしました「株主アンケート」では、全株主様の93.2%に当たる7,838名の方々からご回答いただきました。ご協力いただきました皆様に御礼を申し上げますとともに、集計結果の一部をご報告させていただきます。

### 質問1 当社株式の保有期間



### 質問2 今後の方針



## 株主様の声（一部）

- 引き続き安定性と成長性の両面を満たす経営をお願いします。  
(50代男性)
- 株主優待とともに安定的な配当を望む。  
(50代男性)
- 初めて株式投資しました。今後に期待します。  
(30代女性)

## 優待トピックス

ご好評をいただいております株主様ご優待。前回（2014年12月期）、特に人気の高かった商品をご紹介します。

2,500円  
相当分



カゴメフルーツ&  
野菜飲料ギフト



東京風月堂  
ゴフレット・パピヨットセット



新潟県魚沼産  
こしひかり特別栽培米3kg

5,000円  
相当分



新潟県魚沼産  
こしひかり5kg



カゴメフルーツ&  
野菜飲料ギフト



全国繁盛店  
ラーメン20食セット

※2015年7月1日付株式分割に伴い、2015年12月期末より、株主優待制度の内容を次のとおり変更させていただきます。

保有株式数に応じて商品（カタログより選択）または社会貢献団体へ寄付

- ◆100株以上200株未満 **1,500円**相当
- ◆200株以上4,000株未満 **2,500円**相当
- ◆4,000株以上 **5,000円**相当

# 会社概要

## 会社概要

2015年6月30日現在

社名	内外トランスライン株式会社 (英名：NAIGAI TRANS LINE LTD.)	加入団体	FIATA IATA 国際フレイトフォワーダーズ協会(JIFFA) 日本貿易振興機構(JETRO)
設立	1980年 5月 1日		大阪商工会議所 東京商工会議所 神戸商工会議所 名古屋商工会議所
代表取締役社長	常多 晃		横浜商工会議所 福岡商工会議所
従業員数	543名(連結)		東京通関業会 横浜通関業会
資本金	243,937,240円		
上場市場	東京証券取引所市場第一部		

## 国内事業所

2015年6月30日現在

本社	大阪市中央区安土町三丁目5番12号 御堂筋安土町ビル 3階	神戸支店	神戸市中央区東町126番地 神戸シルクセンタービル 5階
東京支店	東京都中央区日本橋三丁目8番2号 新日本橋ビル 6階	広島営業所	広島市南区比治山本町16番35号 広島産業文化センター 10階
横浜支店	横浜市中区日本大通60番地 朝日生命横浜ビル 4階	門司営業所	北九州市門司区港町九丁目11番 門司港レトロスクエアセンタービル 3階
名古屋支店	名古屋市中区錦二丁目15番22号 りそな名古屋ビル 5階	福岡営業所	福岡市博多区博多駅前二丁目20番1号 大博多ビル 10階

## 役員一覧

2015年6月30日現在

代表取締役会長	戸田 徹	社外取締役	武井 眞哉
代表取締役社長	常多 晃	社外取締役	伊藤 嘉章
専務取締役	大川 友子	常勤監査役	佐藤 達朗
取締役	田中 俊光	社外監査役	川崎 裕朗
取締役	三根 英樹	社外監査役	三木 一男
取締役	戸田 幸子		
取締役	太田 達雄		





## 表紙写真

## 東京港

東京湾の最奥部に位置する国際貿易港。1941年5月に開港し、1967年には日本ではじめてのフルコンテナ船が品川埠頭へ入港し、以降、国際物流拠点として発展しました。2014年の外貨コンテナ取扱個数は439万TEU(20フィートコンテナ換算)。

(写真は大井埠頭)

## 株主メモ

事業年度：毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会：毎年事業年度終了後、3か月以内に開催いたします。

基準日：定時株主総会 12月31日  
期末配当金 12月31日  
中間配当金を行う場合 6月30日

株主名簿管理人：東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口：証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

お問合せ先：〒168-8507  
東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

お取扱店：みずほ証券  
本店、全国各支店および営業所  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。

みずほ信託銀行  
本店および全国各支店  
\*トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。

未払配当金のお支払：みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほ銀行 本店および全国各支店  
(みずほ証券では取次のみとなります)

公告方法：電子公告の方法により、下記ホームページに掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

<http://www.ntl-naigai.co.jp/>

単元株式数：100株

上場取引所：東京証券取引所市場第一部

証券コード：9384

# 内外トランスライン株式会社

〒541-0052 大阪府中央区安土町三丁目5番12号 御堂筋安土町ビル3階  
TEL 06-6260-4710 FAX 06-6260-4719

